



学校再開に向けて

～感染予防と子どもの学びの保証にどのように向かうのか～

緊急事態宣言が解除され、今週になってから、宮城県内でも学校再開のニュースが聞かれるようになりました。本校でも、いよいよ28日、29日と地区別登校、そして6月1日はいよいよ入学式。いよいよ令和2年度がスタートします。ただ、これからの学校再開は、感染予防と子供たちの学びの保証という2つの課題と向かい合っていくことが求められます。22日から26日まで行った集金業務のように、これまでの経験と新たなアイデアを出し合っ、1つ1つ取り組んでいくことが求められそうです。集金業務に関わっていただいた皆さんありがとうございました。特に村上先生、郁恵先生、連日の対応ありがとうございました。

校内でも、子供たちを迎える準備が着々と進み、校内の全ての手洗い場には、横山先生と高階先生が写真のように子供たちが並ぶ位置の目安を付けてくださいました。

先日の打合せで確認したように、朝の検温から授業、休み時間、給食、清掃と全てに感染予防対策が必要です。29日の職員会議で「小野小学校 学校再開 学びの保証」プロジェクトの内容について、再度確認する予定です。私たち自身も初めての経験です。不安なところはお互いに意見を出し合い、全職員で情報と認識を揃えて子供たちを迎えたいと思います。

さて、理科室では、菅原先生がご自分でテーブルにフィールドを試作してくださっていました。今まで通り理科室で授業を行うことは難しい状況ですが、それでも何とか工夫して子どもたちに実験をさせたい、理科の楽しさを味わわせたい、という菅原先生の思いが伝わってきます。

感染症対策のために校内で様々な制約があります。ただ、少しでも学校でなければ経験できないこと、学べないことを味わわせてあげたい、その思いは皆さんきっと同じですね。

理科と言えば、3年生、4年生の教室前には、5月に子供たちが提出した観察カードが先生方のコメントが添えて掲示してありました。(2年生は生活科)

今年度、学校で「春」を見つけることはできませんでしたが、それでも子供たちはそれぞれの家庭で春を見つけ、子供たちなりに「気づき」を得て、まとめることができました。久しぶりに子供たちの息づかいが感じられる絵や文章を見せていただき、当たり前ですが、学校は子供のためにあることを実感しました。

小野小学校に4月1日に着任してから明日は58日目。短い時間でも学校で子供たちの声を聞き、顔を見ることができ、と思うと心が高ぶります。

明日は、初の登校日、1時間だけの登校ですが全職員、笑顔で子供たちを迎えましょう。

(文責：手代木)

